

九州・山口地域 第4次産業革命 “Kyushu4.0” 宣言

情報通信技術が飛躍的に進展する中、IoT、ビッグデータ、人工知能(AI)等の技術革新が、経済社会システム全体を大きく変革しようとしており、第4次産業革命ともいべき時代が到来している。

急速な人口減少に伴う労働力の不足や、高齢者の増加など構造的な問題に直面する地方にとって、第4次産業革命は、そうした課題を解決するとともに、産業構造や就業構造を次なるステージへと発展させる好機でもある。

ここ九州・山口地域には、自動車、半導体、精密機械、エネルギー、農林水産業、さらには観光産業など、基幹的な産業が集積する一方、ベンチャー企業による新たなビジネスモデルも着々と生まれつつある。我々は、これからも従来にないスピードで進む技術革新や経済社会の変化にしっかりと対応し、九州・山口地域に住む人々の暮らしを支える産業基盤を未来にわたって維持、発展させていかねばならない。

そこで、九州・山口地域の産業のさらなる発展に向け、次の3点に重点的に取り組み、第4次産業革命 “Kyushu4.0” を積極的に推進することをここに宣言する。

- 1 日常生活や企業活動の中にある様々な地域課題（ニーズ）と企業がもつシーズを県域を越えてマッチングし、IoTやビッグデータ、人工知能、ロボット等の技術的ブレークスルーを用いて解決する先進プロジェクトの創出
- 2 規制改革やルール整備、関連技術の実証を行うテストベッドの確保など、第4次産業革命を推進する事業環境の整備
- 3 産学官の連携によるIT人材やインテグレーターなど第4次産業革命を担う人材の確保・育成

平成29年5月24日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰